

【地元説明会及び区長説明会、第1回、第2回検討会 意見】

カテゴリー分け及び対応策（案）

- ①ハード対策
- ②ソフト対策
- ③維持管理
- ④災害後の支援体制
- ⑤危機管理

※前回（第2回検討会）からの修正を青字で記載

地元説明会及び区長説明会、第1回、第2回検討会に対する対応策(案)

平成30年台風24号大淀川の内水被害に関する検討会

カテゴリー	分類	意見	対応策(案)	地・区・検討会 及び 番号
ハード対策	A: 内水被害の軽減 対策	飯田川ポンプの増設など長い目で見た今後の検討をお願いしたい。	宮崎市内に設置されている排水機場の計画規模は、全て10年に1度の降雨を対象としており、当該地域のみ計画規模を大きくしポンプを増設することは難しいと考えている。 このため、 河川整備計画に基づく本川の河道掘削を行うことで、本川の水位低下を図り、内水域の被害軽減を図る。 また、本川水位の低減効果を確認しつつ、さらなる対策の必要性について検討する。 また、台風等で出水が予想される場合には、事前にため池管理者に水位を落とすよう引き続き要請し、確実に水位を下げる協力体制を確保する。	飯田 地-6
		床下浸水で押さえて欲しい。		江川 区-3
		江川排水機場のポンプの増設予定はあるのか。		江川 区-5
		瓜田川排水機場の排水能力のアップをお願いしたい。		瓜田 地-3
		瓜田ダムをもっと洪水調節できる施設に出来ないか。		瓜田 地-4
		ため池があれば雨が降る前に水を抜いて貯める等様々な検討もして頂きたい。		瓜田 地-9
		河道掘削の実施による水位低減対策が必要		第1回検討会
	B: 監視体制 の強化	瓜生野川に監視モニターを付ければリアルタイムの状況を把握できるのでは無いか。	支川がどのような状況にあるか リアルタイムで把握出来る監視モニターの設置及び水位計の設置 を行い、併せてリアルタイム情報の公開を行うものとし、 排水機場の内外水位についても情報の公開に向けた検討を進める。内水監視員制度 についても、内容について再確認を行い、 監視体制の確保 を図る。	瓜生野 区-5
		麓川の水位が測られておらず、番所橋の観測所の水位だけでは現状は分からない。観測体制の整備をお願いする。		瓜田 地-5
		内水監視員制度による浸水状況を把握する方法もあるのではないか。		第1回検討会
	C: 大型ゴミ対策	降雨に伴い瓜生野川や排水機場にゴミが流れてくることを想定した対策をお願いしたい。	瓜生野川、江川において、大型ゴミ漂着によるポンプ停止等に備えた 大型ゴミ用スクリーンを設置 する。	瓜生野 地-6
		ポンプ停止に備えた除塵対策が必要ではないか。		第1回検討会

地元説明会及び区長説明会、第1回、第2回検討会に対する対応策(案)

平成30年台風24号大淀川の内水被害に関する検討会

カテゴリー	分類	意見	対応策(案)	地・区・検討会 及び 番号
ソフト対策	A: 施設操作 の徹底	瓜生野川排水機場に待機していた職員は操作の仕方を理解していたのか。	出水期前に操作人への説明会を開催し、水防時に 河川管理施設の適切な操作 が出来るよう周知を図っている。今後も引き続き、適切に施設操作が出来るように 操作人への説明会 を通じ徹底を図る。また各施設の出勤のタイミングを アラームメールで通知 するシステムの活用を図る。	瓜生野 区-2
		施設操作が適切に出来るようしっかり対応して頂きたい。		飯田 地-5
		排水機場への職員待機のタイミングを早く出来ないのか。		瓜生野 区-3
		排水機場における緊急時の連絡体制をしっかりとすべき。		瓜生野 区-4
	B: 施設操作 情報の提供	ポンプが稼働していなかったのではないか。	操作状況のわかる パトライトの設置 や、排水機場の稼働状況の透明化を図る為に、 立会人を設定 するなどの情報提供方法の改善を図る。	瓜田 区-1
		江川排水機場のポンプが動いていなかったのではないか。		江川 区-4
		飯田川排水機場のポンプの稼働に関する情報がない。		飯田 地-4
		飯田川排水機場より上流の大淀川の樋管は操作が遅れたのではないか。		飯田 区-1
		飯田川排水機場のポンプも動いていなかったという人もいた。		飯田 区-2
		下流の市街地を守るために高岡(瓜田川排水機場)のポンプを止めたのではないか。		瓜田 区-2
		施設の稼働状況等について、情報提供方法の改善が必要ではないか。		第1回検討会
		一斉メール(市・県)や防災無線を活用した操作情報の提供		第2回検討会
	C: 地域防災力 の向上	瓜生野川沿川で水が引かなかったのは水門を開けていたからではないか。	水防災意識社会再構築ビジョンの取組の一環として、 出前講座、防災学習、シンポジウム などを通じ 住民の水防災意識の向上 を図ると共に、住民の水害に対する事象の理解を得る。	瓜生野 地-4
		雨が止んでから一気に瓜生野川の水位が上がった。		瓜生野 地-5
		排水機場地点で水位を1m程度下げたと説明があったが、高岡のメイン通りの側溝はほとんど流れが無かった。		飯田 地-11
		なぜ、雨が止んでから飯田川の水位が上がったのか。		飯田 地-3
		高岡地区での消防団、水防団、防災士等の活動状況はどうなっているか。		第1回検討会
		防災講座はどれだけ実施しているのか。		第1回検討会
		ドアの外との水位差が30cmになると人間の力ではドアが開けられない。		第1回検討会

地元説明会及び区長説明会、第1回、第2回検討会に対する対応策(案)

平成30年台風24号大淀川の内水被害に関する検討会

カテゴリー	分類	意 見	対応策(案)	地・区・検討会 及び 番号	
維持管理	A: 河川内巡視・ 点検の徹底 堆積土砂撤去・ 樹木伐採	堤防の草刈り後、刈りっぱなし。集積して欲しい。	平常時から巡視等を行い河道の状況を確認し、必要に応じ対策を実施している。今後も引き続き施設の点検や巡視等を行い、必要に応じ 施設の修繕や河道内の土砂撤去・樹木の伐採等を実施する。	瓜生野 地-2	
		瓜生野川には魚も泳げないほど草木が茂っており、対応して欲しい。		瓜生野 地-3	
		江川の中に木が育っている。このままだと護岸がやられるのでは。		江川 区-1	
		大淀川も木が大きくなってきている。		江川 区-2	
		土砂撤去は今年だけでは無く継続して実施して欲しい。		飯田 地-1	
		昔は大淀川の中に貯まった土砂は砂利採取業者が撤去していた。現在では土砂が堆積し樹木も繁茂している様に見える。		飯田 地-2	
		ポンプ場に水が届く前に水が溢れて、家屋が浸水しているのではないか。		瓜田 地-2	
	排水機場や河川の治水施設の管理をもっとしっかり行って欲しい。	瓜田 地-1			
	B: 施設管理の徹底	瓜生野川に不法係留船が沢山ある。行政がしっかり指導すべきではないか。		平常時から巡視等を行い不法係留船の有無を確認し、必要に応じ対応している。 不法係留船対策にかかる指導 を強化していく。	瓜生野 地-1
	瓜生野川排水機場について、2台のうち1台のポンプが動かなかった時間があると聞いているが、何が原因なのか。	瓜生野 区-1			

地元説明会及び区長説明会、第1回、第2回検討会に対する対応策(案)

平成30年台風24号大淀川の内水被害に関する検討会

カテゴリー	分類	意見	対応策(案)	地・区・検討会 及び 番号
災害後の 支援体制	A: 災害後の生活基 盤の早期復旧	病院やスーパーなど公共性の高い施設の復旧を優先する対応を考えて欲しい。	災害後の避難所や被災者の生活再建等 (災害ゴミ処理、消毒、道路清掃等)に 対する支援策について、各部署における 災害時の対応を遅滞なく実施できるよ う、 対応方法について再確認 してい く。	瓜生野 地-7
		災害ゴミの出し方に関する情報を速やかに提供して欲しい。		瓜生野 地-8
		床上浸水し、水に浸かった畳をなかなか取りに来てくれなかった。		瓜田 地-6
		水害後は速やかに消毒に来て欲しい。		瓜田 地-7
		避難所はもう終わりと言われ出された。避難所の期間はもう少し期間があっても良かった。		瓜田 地-8
		ゴミ処理対応など高岡総合支所が主体的に判断し指示できる体制を作って欲しい。		飯田 地-7
		水害後のゴミ処理方法の指示が遅い。		飯田 区-3
		市の電話対応に不満を感じる。		飯田 区-9
		災害後の対応マニュアルがあるべき		飯田 区-4
		国道10号をどうにかしてもらいたい。迂回路(市道)を通る車が危険であるため、冠水時には地元でバリケードを設置したい。		江川 区-6
		浸水に伴い泥だらけになった道路清掃は宮崎市がしてくれなかった。		飯田 地-8
		なぜ、一部区間の側溝だけ清掃したのか。他の区間も対応して欲しい。		飯田 地-9
		防火水槽の水を道路清掃に利用することは出来ないのか。		飯田 地-10
		道路に溜まった泥等の処理も対応が遅い。		飯田 区-8

地元説明会及び区長説明会、第1回、第2回検討会に対する対応策(案)

平成30年台風24号大淀川の内水被害に関する検討会

カテゴリー	分類	意見	対応策(案)	地・区・検討会 及び 番号
危機管理	A: 早期避難の 促進・啓発	北地域センターは避難所となっているが孤島となっていた。	安全に避難ができる段階で避難に関する情報の発令を心がけているが、予想を超える降雨により、避難所までの道路等が冠水する可能性があることも踏まえ、引き続き 避難に関する情報やその発信、過去の内水被害を記載したハザードマップ を活用した 早期避難の促進・啓発(防災講座、防災学習等) を実施する。	瓜生野 地-9
		浸水が早く避難も間に合わなかった。		瓜田 区-3 飯田 区-5
		避難所前の道路付近まで冠水している状況であったが、避難所の指定を変更しなくても良いのか。		飯田 区-7
		どれくらいの雨で、これくらい浸水するといった(降雨強度別の)ハザードマップは無いのか。		瓜生野 区-6
		内水ハザードマップは作成しないのか。		第1回検討会
	B: 情報発信・共有	浸水状況を広報する広報車や消防も来なかった。	水防情報を 関係機関で共有するための仕組み(タイムラインの活用、マスコミとの勉強会、地域防災コラボチャネル等) を 強化する など充実を図っていく。 また各部署における災害時の対応を遅滞なく実施できるよう、 情報発信・共有方法について再確認 していく。	瓜田 地-10
		道路冠水情報は国県市で共有できているのか。		飯田 区-6
		水が上がる場所にどうして建築許可が下りるのか。		瓜田 地-11
		排水機場横の分譲地に家を建てようと思ひ、役所に浸水するか否か問い合わせたところ“水位は上がらない”と説明されたが危険な区域であれば周知をお願いする。		飯田 地-14
		どこがどんな状況になっているのかの情報もなく分からない。窓口を設置するなど、きめ細やかな情報の提供をお願いしたい。		飯田 地-12
		今回の浸水で浄水場が使えなくなったという情報やゴミ廃棄に関する情報の提供が遅すぎる。		飯田 地-13

平成３０年台風２４号大淀川の内水被害に関する 検討会を踏まえた今後の対応方針（案）

平成３０年９月に発生した台風２４号に伴う短時間かつ記録的な降雨により、大淀川支川の瓜生野川、江川、瓜田川、飯田川（以下、「４河川」と記す）沿川において多くの内水被害が発生しました。

このようななか、平成３１年１月に「平成３０年台風２４号大淀川の内水被害に関する検討会」を設置し、これまでに３回の検討会を通して浸水状況や要因等について共有し、専門的な知識を有する学識者から指導・助言を得ながら、家屋の浸水被害軽減に向けた今後の対応について検討を進めて参りました。

検討会では、今回の出水だけではなく、平成２９年九州北部豪雨をはじめ、近年、全国で降雨の激甚化、高頻度化、集中化並びに局地化が進行していることを踏まえ、家屋の浸水被害軽減に向けた今後の対応について、ハード・ソフトの両面から貴重なご意見を頂きました。

これらのご意見を踏まえ、検討会として当面の対応方針をとりまとめ、国、県、市の関係機関で連携して、ハード対策、ソフト対策など以下項目に取り組んでいくことを確認しました。

なお、今回の検討会で検討等に時間を要し、明確な対応方針を示すことが出来なかった案件については、個別に学識者と協議しつつ、引き続き取り組んで参りたいと考えています。

対応方針（案）

１．ハード対策

①内水被害の軽減対策

- 河川整備計画に基づく本川の河道掘削を行うことで、本川の水位低下を図り、内水域の被害軽減を図る。また、本川水位の低減効果を確認しつつ、さらなる対策の必要性について検討する。
- 台風等で出水が予想される場合には、事前にため池管理者に水位を落とすよう引き続き要請し、確実に水位を下げる協力体制を確保する。

②監視体制の強化

- 支川がどのような状況にあるかリアルタイムで把握出来る監視モニター

の設置及び水位計の設置を行い、併せてリアルタイム情報の公開を行うものとし、排水機場の内外水位についても情報の公開に向けた検討を進める。

○内水監視員制度についても、内容について再確認を行い、監視体制の確保を図る。

③大型ゴミ対策

○瓜生野川、江川において、大型ゴミ漂着によるポンプ停止等に備えた大型ゴミ用スクリーンを設置する。

2. ソフト対策

①施設操作の徹底

○出水期前に操作人への説明会を開催し、水防時に河川管理施設の適切な操作が出来るよう周知を図っている。今後も引き続き、適切に施設操作が出来るように操作人への説明会を通じ徹底を図る。

○各施設の出動のタイミングをアラームメールで通知するシステムの活用を図る。

②施設操作情報の提供

○操作状況のわかるパトライトの設置や、排水機場の稼働状況の透明化を図るために、立会人を設定するなどの情報提供方法の改善を図る。

③地域防災力の向上

○水防災意識社会再構築ビジョンの取組の一環として、出前講座、防災学習、シンポジウムなどを通じ住民の水防災意識の向上を図ると共に、住民の水害に対する事象の理解を得る。

3. 維持管理

①河川内巡視・点検の徹底、堆積土砂撤去・樹木伐採

○平常時から巡視等を行い、河道の状況を確認し、必要に応じ対策を実施している。今後も引き続き施設の点検や巡視等を行い、必要に応じ施設の修繕や河道内の土砂撤去・樹木の伐採等を実施する。

②施設管理の徹底

○平常時から巡視等を行い不法係留船の有無を確認し、必要に応じ対応している。不法係留船対策にかかる指導を強化していく。

4. 災害後の支援体制

①災害後の生活基盤の早期復旧

○災害後の避難所や被災者の生活再建等（災害ゴミ処理、消毒、道路清掃等）に対する支援策について、各部署における災害時の対応を遅滞なく

実施できるよう、対応方法について再確認していく。

5. 危機管理

①早期避難の促進・啓発

- 安全に避難ができる段階で避難に関する情報の発令を心がけているが、予想を超える降雨により、避難所までの道路等が冠水する可能性があることも踏まえ、引き続き避難に関する情報やその発信、過去の内水被害を記載したハザードマップを活用した早期避難の促進・啓発（防災講座、防災学習等）を実施する。

②情報発信・共有

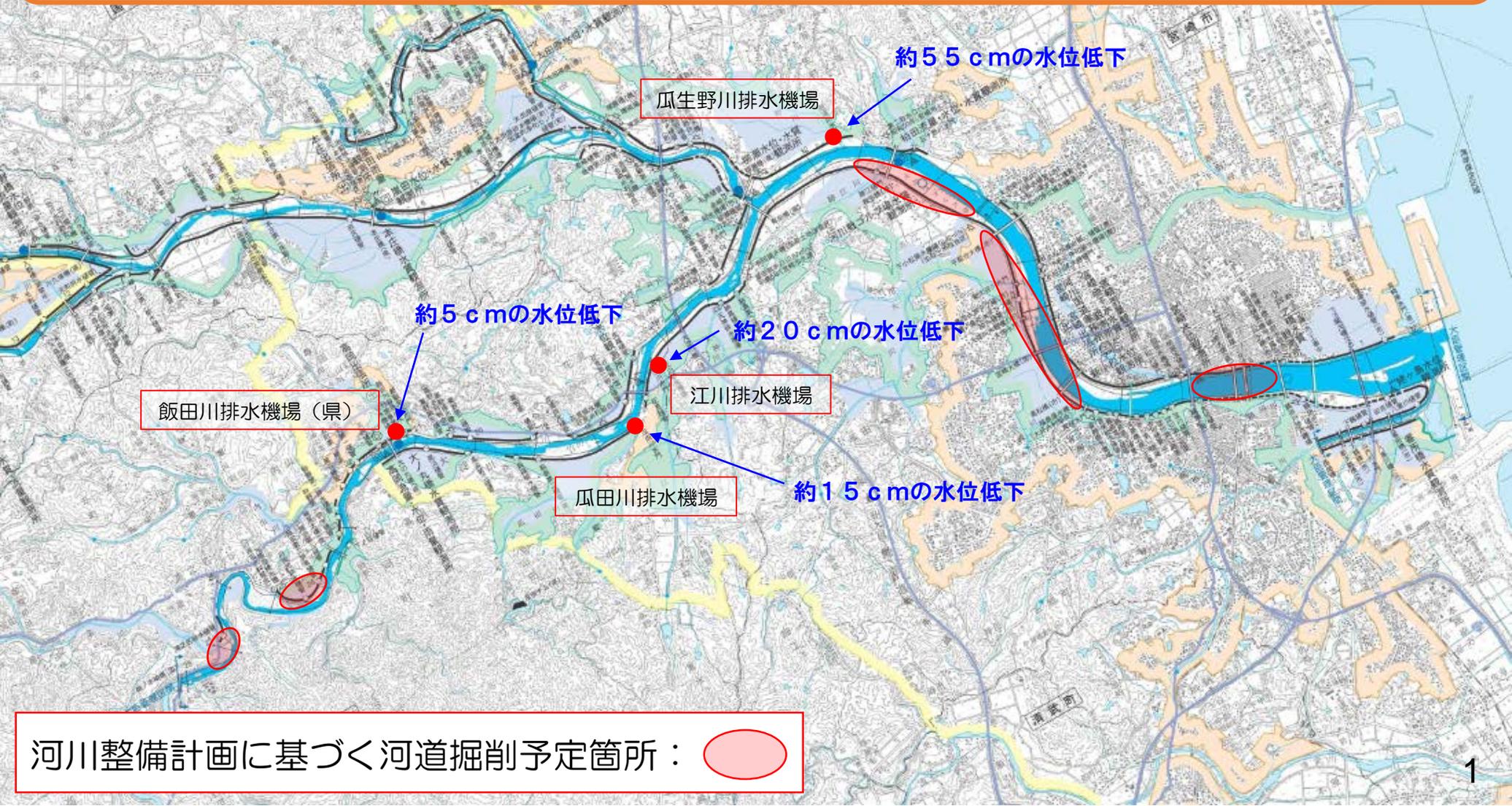
- 水防情報を関係機関で共有するための仕組み（タイムラインの活用、マスコミとの勉強会、地域防災コラボチャンネル等）を強化するなど充実に図っていく。
- 各部署における災害時の対応を遅滞なく実施できるよう、情報発信・共有方法について再確認していく。

主な取組項目	国	県	市
1. ハード対策			
A：内水被害の軽減対策 ・河川整備計画に基づく河道掘削 ・ため池管理者への協力体制の確保	H31年度～ —	— —	— 継続実施
B：監視体制の強化 ・監視モニターの設置及び水位計の設置 ・内水監視員制度による監視体制の確保	— —	H31年度～ —	— 継続実施
C：大型ゴミ対策 ・大型ゴミ用スクリーン設置（瓜生野川、江川）	H31年度～	—	—
2. ソフト対策			
A：施設操作の徹底 ・河川管理施設の操作人への説明会の実施 ・アラームメールで通知するシステムの活用 B：施設操作情報の提供 ・パトライト設置 ・情報提供方法の改善 C：地域防災力の向上 ・住民の水防災意識の向上（出前講座、防災学習、シンポジウム等）	継続実施 H31年度～	継続実施 —	継続実施 —
	H32年度以降 継続実施	H32年度以降 継続実施	— 継続実施
	継続実施	継続実施	継続実施
3. 維持管理			
A：河川内巡視・点検の徹底、堆積土砂撤去・樹木伐採 ・河道内の土砂撤去・樹木の伐採等 B：施設管理の徹底 ・不法係留船対策にかかる指導の強化	H31年度～ 継続実施	H30年度～ 継続実施	H30年度～ —
4. 災害後の支援体制			
A：災害後の生活基盤の早期復旧 ・生活再建等の支援策について対応方法の再確認	—	—	継続実施
5. 危機管理			
A：早期避難の促進・啓発 ・ハザードマップを活用した早期避難の促進・啓発（出前講座、防災学習等） B：情報発信・共有 ・関係機関で共有するための仕組み（タイムラインの活用、マスコミとの勉強会、地域防災コラボチャンネル等）の強化 ・災害時の情報発信・共有方法について再確認	継続実施 H31年度～ 継続実施	継続実施 H31年度～ 継続実施	継続実施 H31年度～ 継続実施

想定される対応策(案)の事例

平成31年3月18日

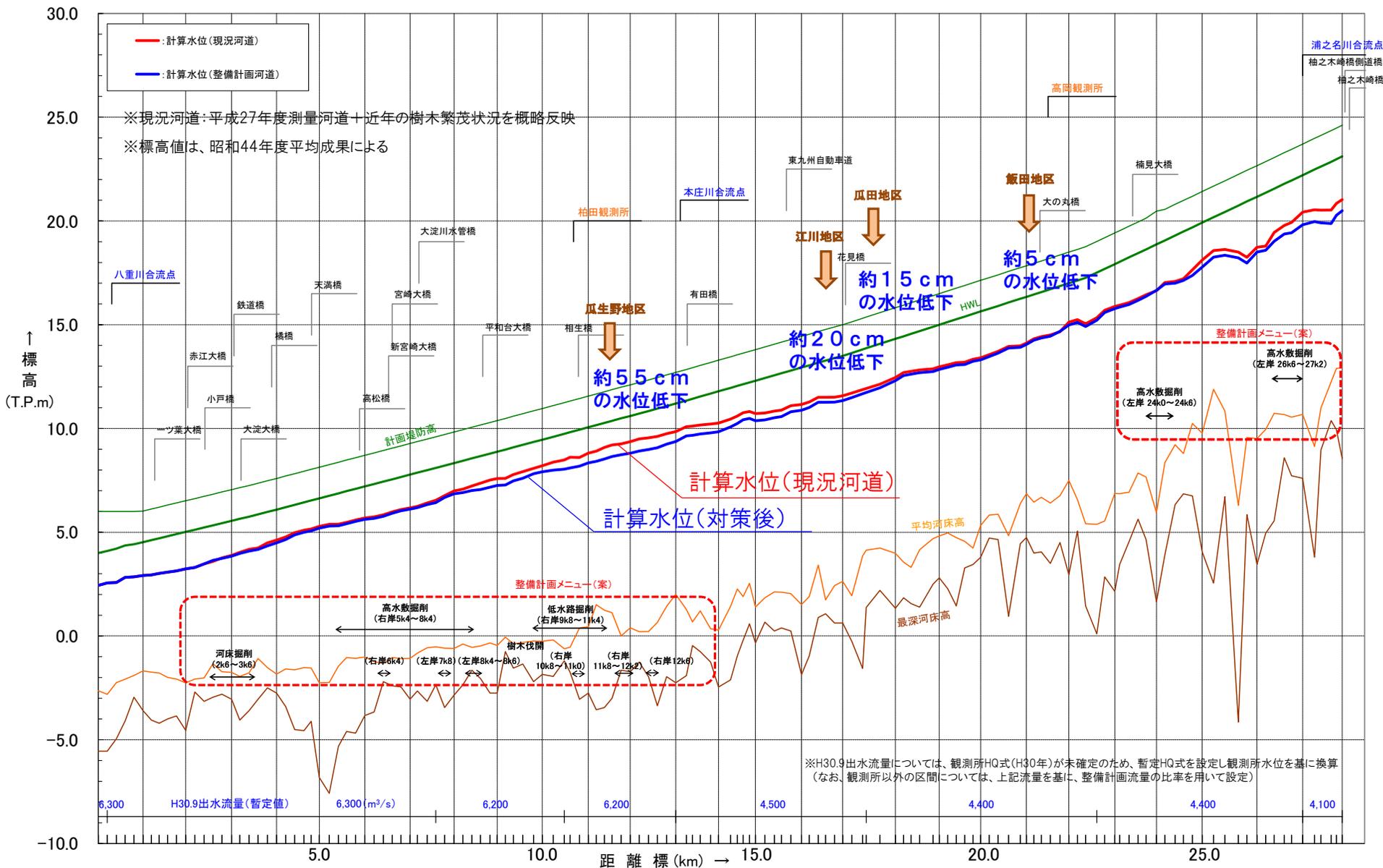
- ・河川整備計画に基づく河道掘削を行うことで、本川の水位低減を図り、内水被害の軽減を図る。
- ・河道掘削の効果については、各支川の合流点（水門）付近において概ね5cm～55cm程度の水位低減が見込める。



河川整備計画に基づく河道掘削予定箇所：

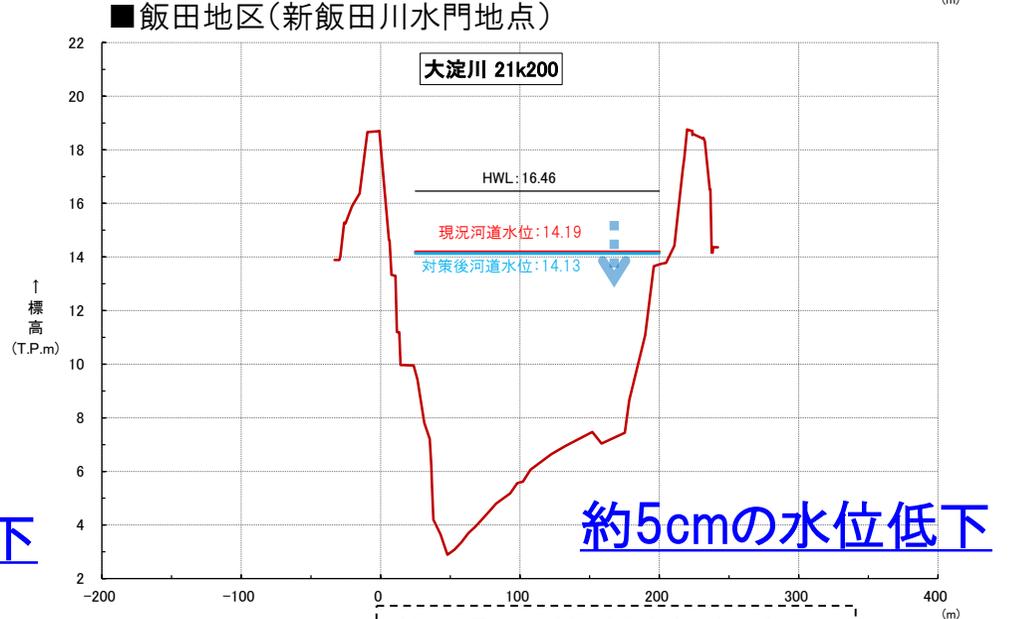
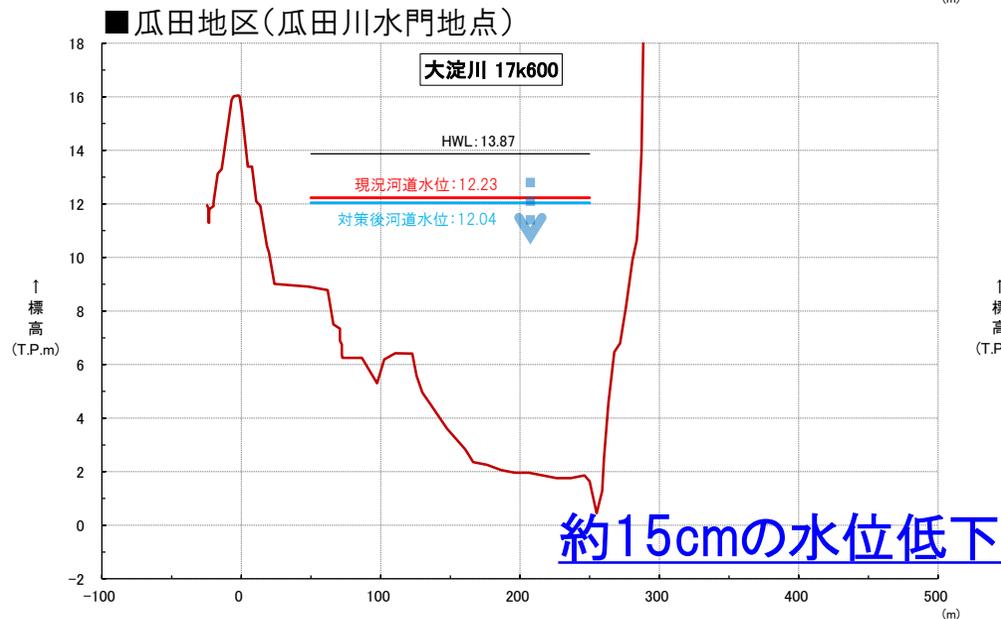
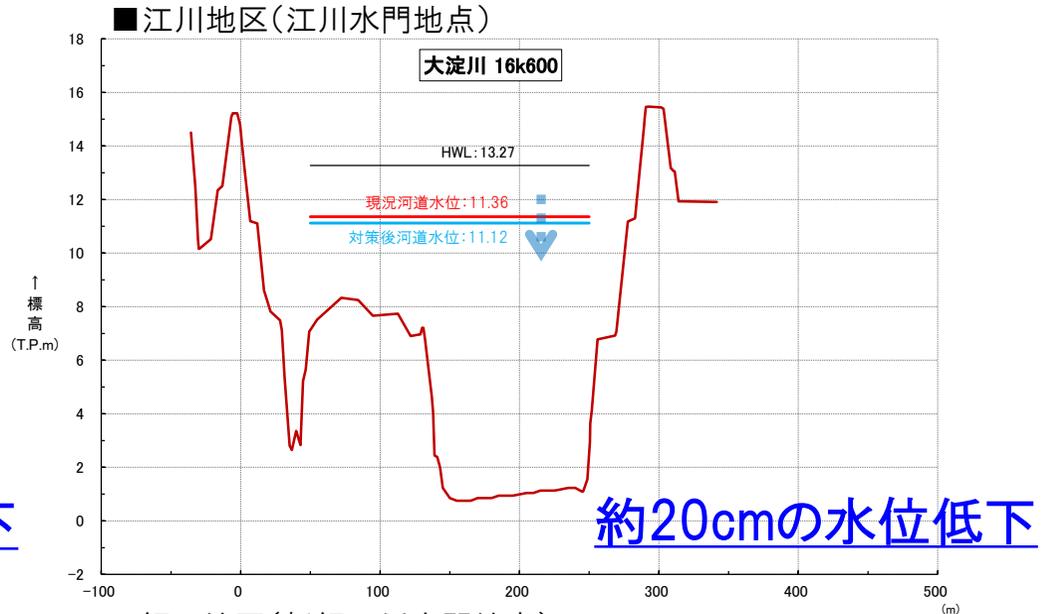
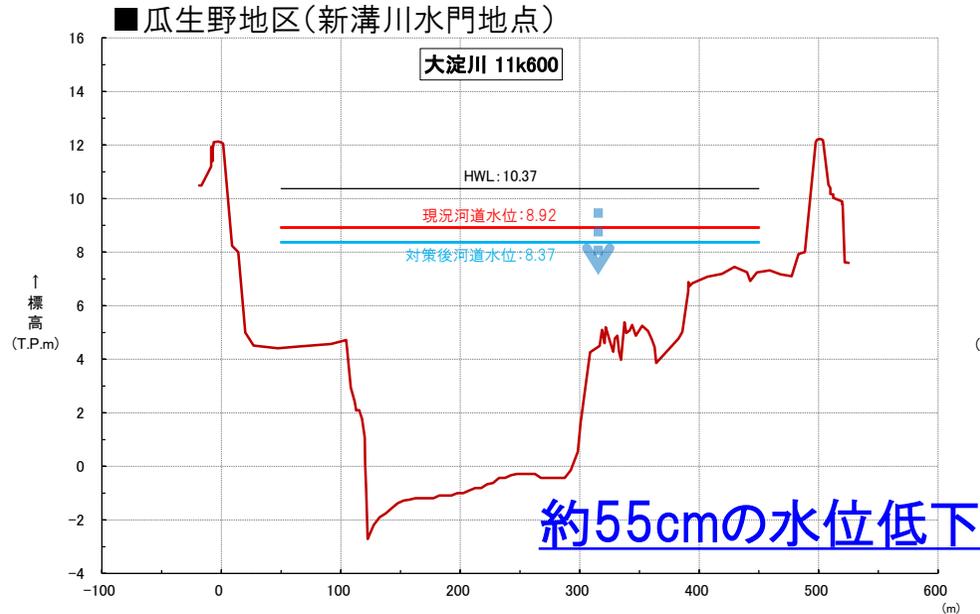


【カテゴリー：ハード対策】河川整備計画に基づく本川の河道掘削（国） 実施時期：中期・長期



大淀川下流 不等流計算水位縦断図 <計算流量:H30出水流量(※暫定値) 対策案:河川整備計画案>

【カテゴリー：ハード対策】河川整備計画に基づく本川の河道掘削（国） 実施時期：中期・長期



※横断面図上の河道水位については、対象地点近傍での計算水位(現況河道)が、水門地点の実績外水位記録に合致するようスライドした値

対象流量: 平成30年9月出水実績(暫定値)
対策案: 河川整備計画案

対策：大型ゴミ漂着によるポンプ停止等に備えた大型ゴミ用スクリーンを設置

○大型ゴミ用スクリーン ⇒ 有り



ゴミによる
ポンプ停止無し

○大型ゴミ用スクリーン ⇒ 無し



ゴミによるポンプ停止有り



瓜生野川・江川排水機場に大型ゴミ用スクリーン設置

洪水時における排水機場及び樋門・樋管への出動タイミング（出動目安水位）を携帯電話にアラームで知らせ、迅速な出動を促す。併せて操作員への説明会を継続して行い、適切な施設操作が出来るよう徹底を図る。

※排水機場の稼働状況の透明化を図るため宮崎市では操作立会人制度も活用

アラームメールの概要



各施設の出動水位を超過した場合にアラームメールを自動的に送信

各施設の操作員は到着時、ゲートの全閉時、全開時にメール送信することにより操作状況を把握

操作員への操作説明会



現在、排水機場の操作が適切に実施できるよう、出水期前に、操作人への説明会や施設の点検を含めた操作訓練を行っています。

今後も引き続き、操作員への周知徹底を図っていきます。



水門等操作説明会



合同操作訓練（瓜生野川排水機場）

◆水門等操作立会人制度とは

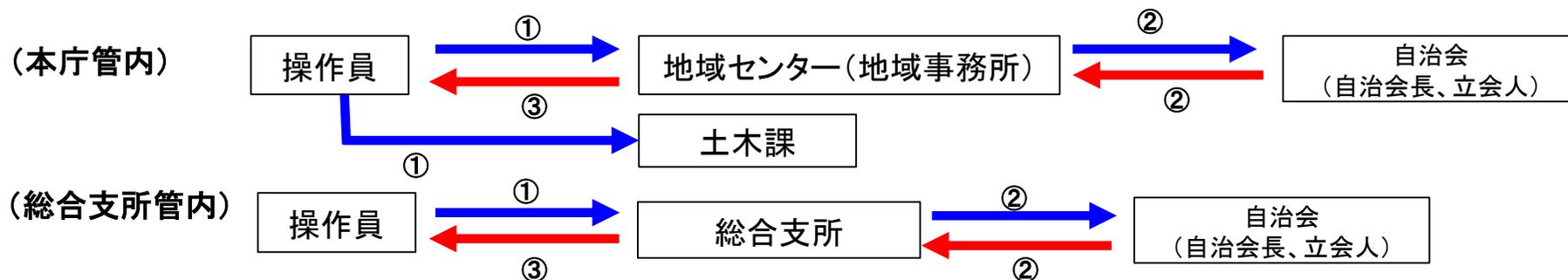
平成17年台風14号での浸水被害を受け、地元住民の水門等の操作への関心が高まり、平成18年度より、地元自治会等が希望する場合において、的確な水門操作の確認を行うことを目的とし、水門等操作立会人を登録しています。

平成30年度は、本庁管内の水門及び排水機場において28施設56人の立会人が登録されており、**台風24号では、12施設18人が立会いました。**

今後も引き続き、制度の活用を図っていきます。

<立会の流れ>

(1) 連絡体制



- ①操作員は、水門等进行操作する前に、関係する地域センター等へ連絡
- ②地域センター等から自治会長へ連絡し立会人が操作に立会うか確認
- ③地域センター等は立会の有無を操作員へ連絡

(2) 操作方法

操作員と立会人で逆流または順流の確認を行い、操作員が操作を行う。

対策：パトライトの設置により排水機場の操作状況を把握（瓜生野川・江川・瓜田川・飯田排水機場）

施設の操作状況についての情報（操作員待機、排水機場の稼働状況等）が伝わっていない状況。

施設の操作状況がわかるように情報提供方法の改善を図る。

※操作状況がわかるパトライトの設置等

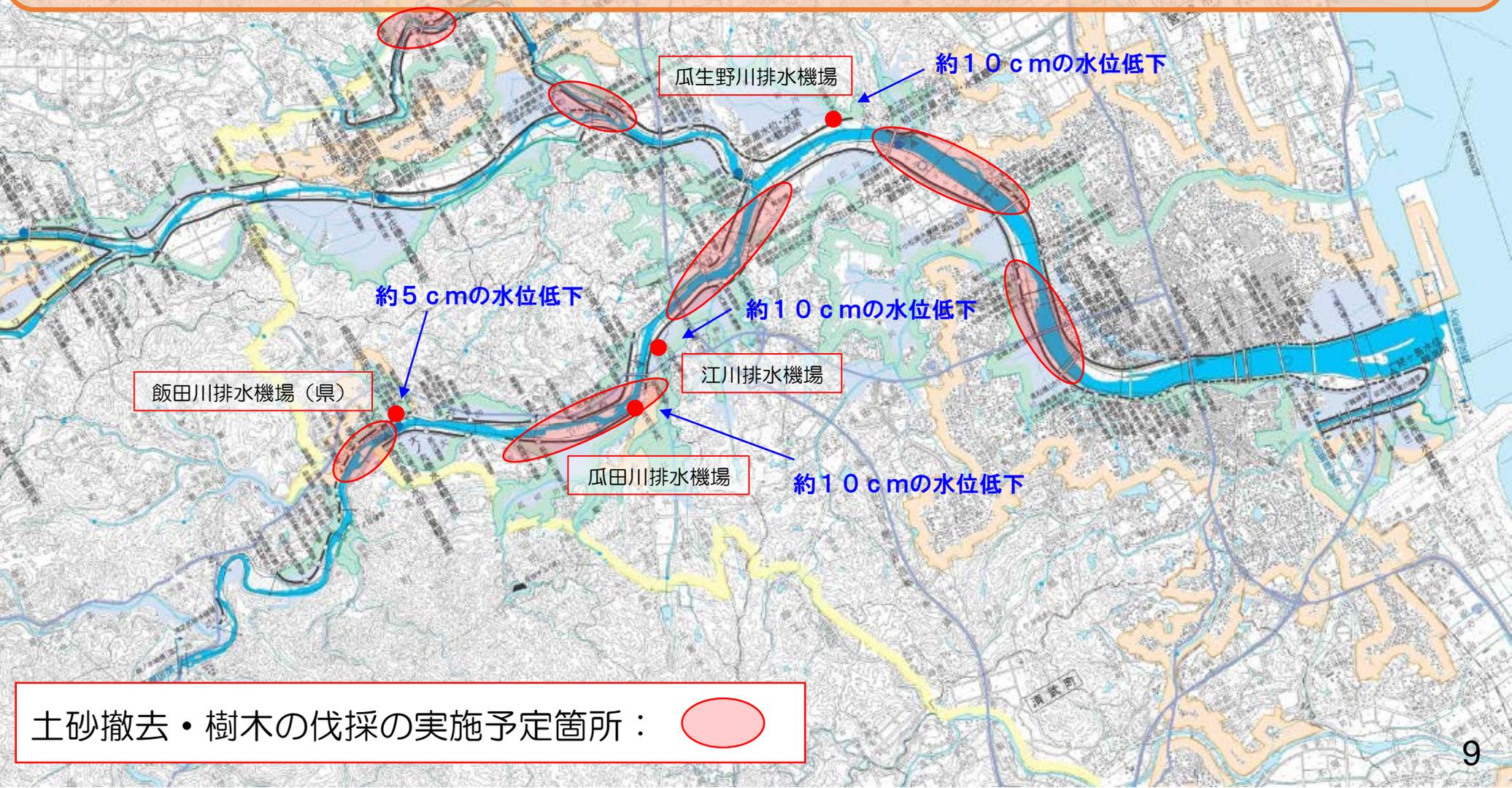


排水機場への操作員の到着・待機、ポンプ稼働・停止時にパトライトで点灯・消灯で状況を把握。

河川巡視時のポンプ稼働確認（管理用）、地域住民への安心・周知を図る。

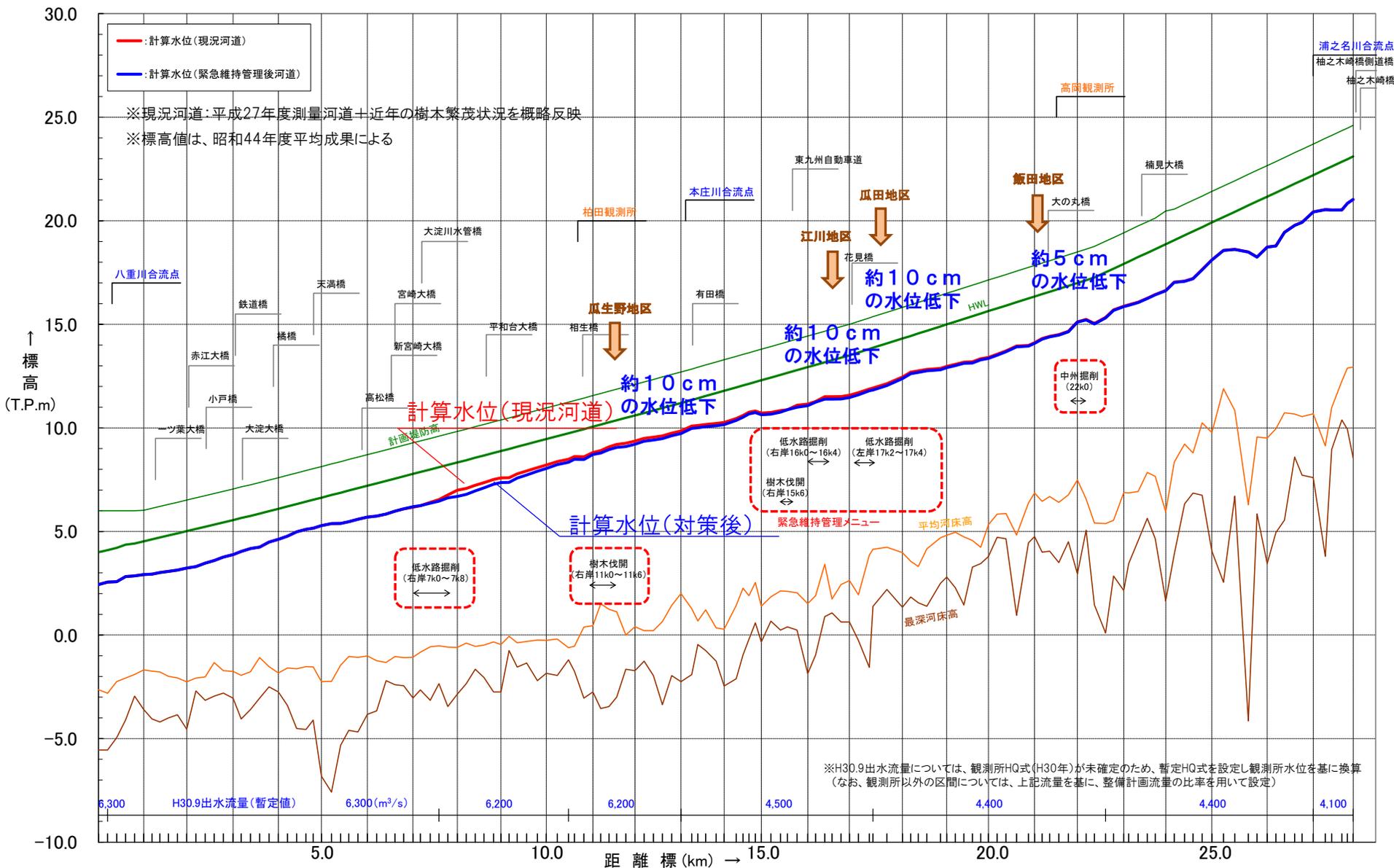
【カテゴリー：維持管理】土砂撤去・樹木の伐採（国） 実施時期：短期・中期

- ・大淀川での床対事業や激特事業が完了し、河道内での土砂堆積や樹木の繁茂が多く見られていることから、環境に配慮しながら河道内及び排水機場周辺の堆積土砂撤去・樹木伐採を行うことで本川の水位低減を図り、内水被害の軽減を図る。
- ・堆積土砂撤去・樹木の伐採の効果については、各支川の合流点（水門）付近において概ね5cm～10cm程度の水位低減が見込める。
- ・堆積土砂撤去・樹木の伐採の優先順位については、浸水被害の大きかった地区周辺を優先して平成31年度当初より同時進行で工事を進める予定。



土砂撤去・樹木の伐採の実施予定箇所：

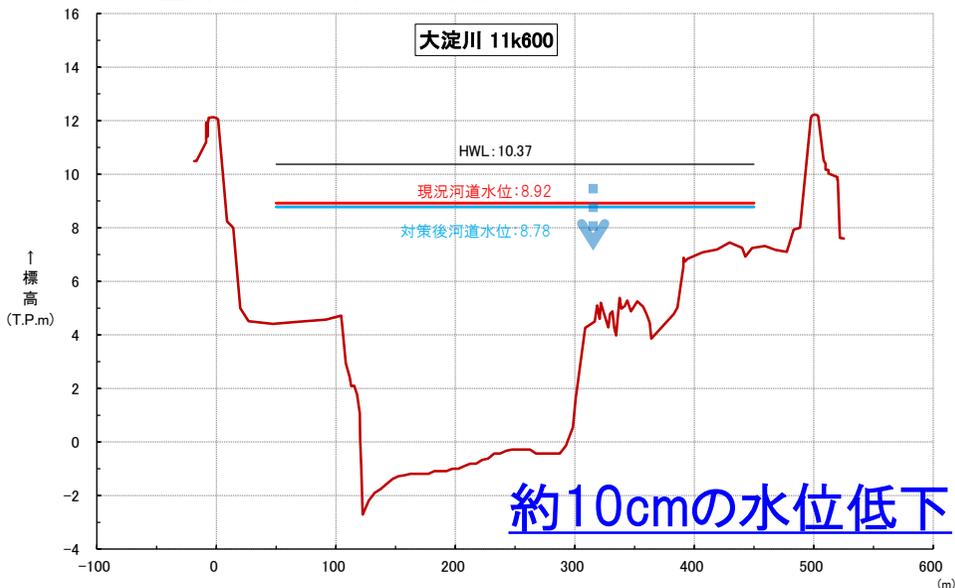




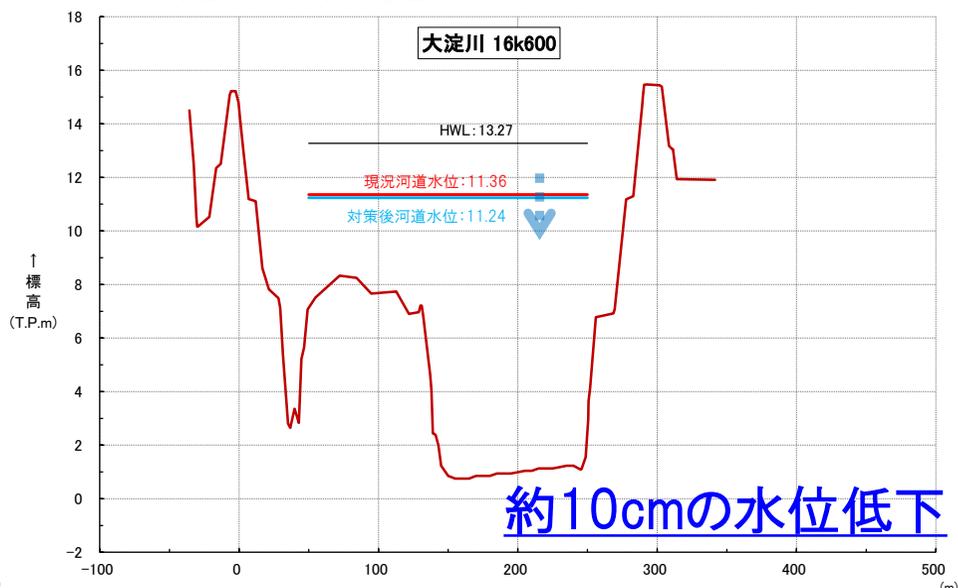
大淀川下流不等流計算水位縦断面図 <計算流量:H30出水流量(※暫定値) 対策案:緊急維持管理対策案>

【カテゴリー：維持管理】土砂撤去・樹木の伐採（国） 実施時期：短期・中期

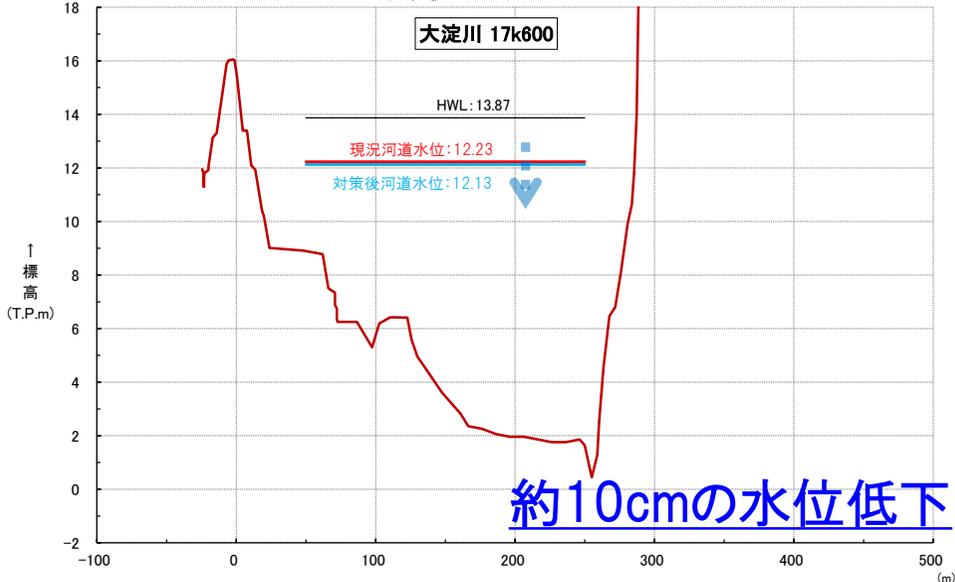
■ 瓜生野地区(新溝川水門地点)



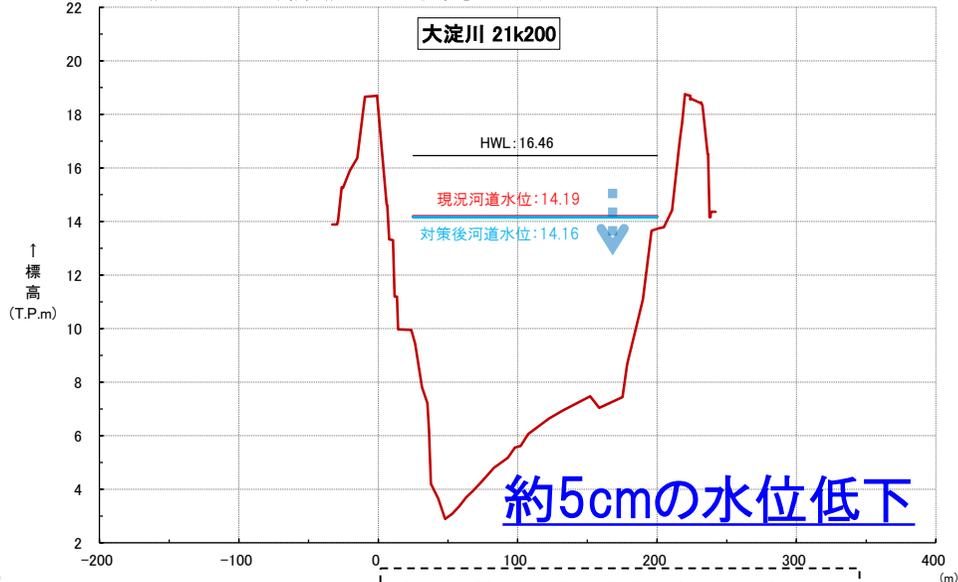
■ 江川地区(江川水門地点)



■ 瓜田地区(瓜田川水門地点)



■ 飯田地区(新飯田川水門地点)



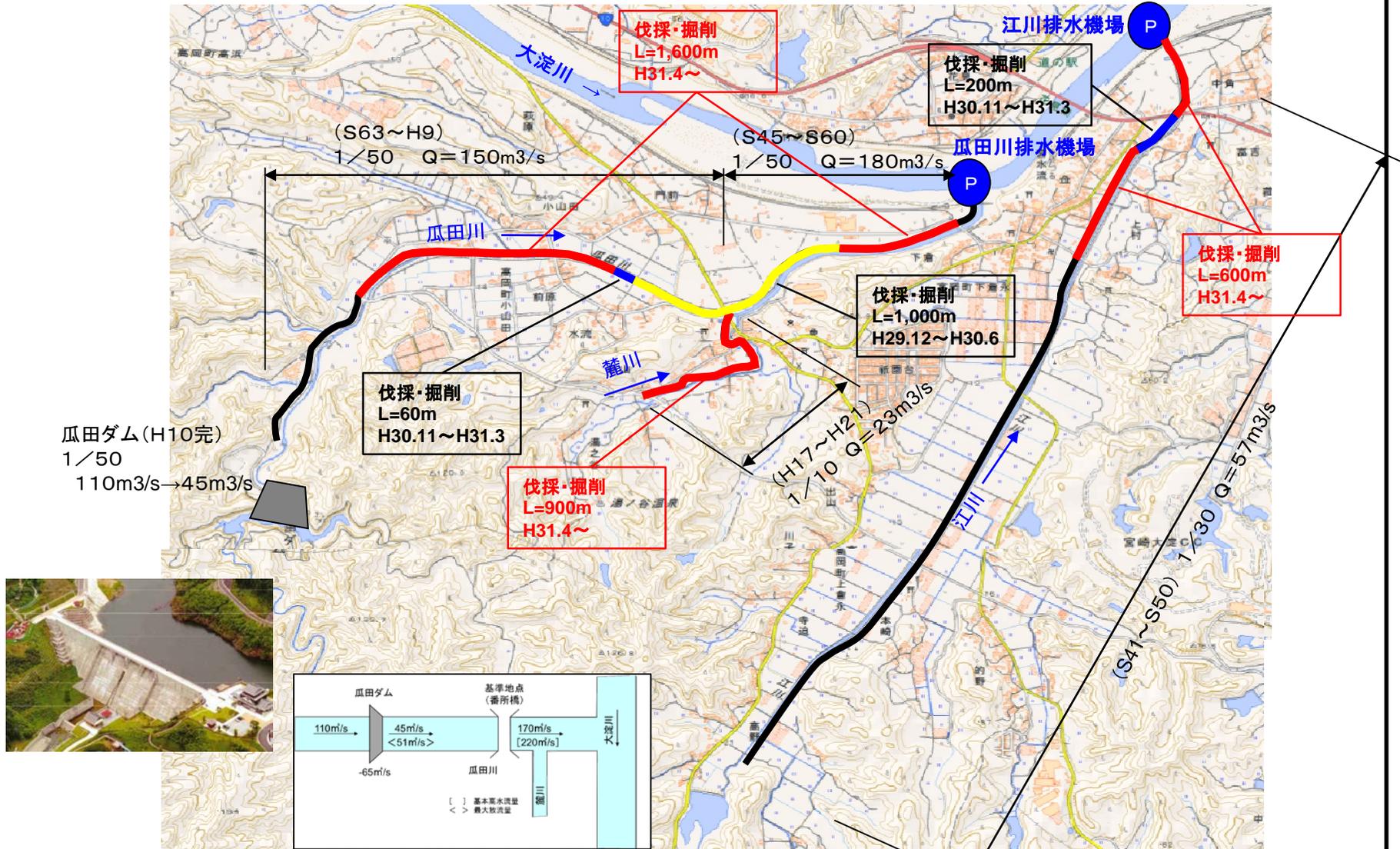
※横断面図上の河道水位については、対象地点近傍での計算水位(現況河道)が、水門地点の実績外水位記録に合致するようスライドした値

対象流量：平成30年9月出水実績(暫定値)
対策案：緊急維持管理対策案



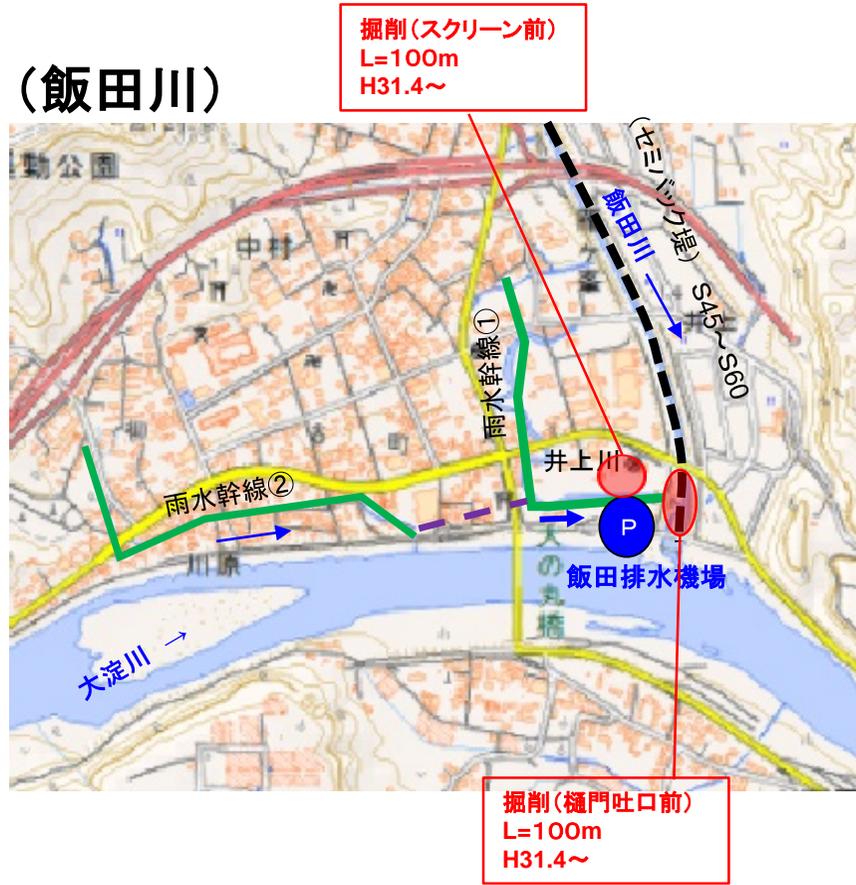
※他の内水被害箇所周辺においても同様の対策を実施する。

大淀川支川 河川整備状況(瓜田川・江川)



大淀川支川 河川整備状況(飯田川・瓜生野川)

(飯田川)



(瓜生野川)



大淀川支川の瓜生野川、瓜田川、江川等において、河道内の土砂堆積や草本の繁茂が多く見られていることから、河道内の土砂掘削・伐採を行い、スムーズな水の流れを確保することで、支川の水を早く本川へ排水し、内水被害の軽減を図る。

堆積土砂の撤去・樹木の伐採

瓜生野川 上野橋付近（着手前）



瓜生野川 上野橋付近（施工中）



瓜田川 赤池橋付近（着手前）



瓜田川 赤池橋付近（施工中）



※江川や飯田排水機場周辺においても同様の対策を実施する。



県と連携し、瓜生野川の支流である前溝川の堆積土砂の撤去を行います。



パネルやチラシ等を用いた企画や防災学習や出前講座等により、水防災意識の啓発を図る。

パネルやチラシ等を用いた
水防災意識の啓発



ショッピングモールでの防災広報

防災学習や出前講座等の推進



お願ひする年生の副教材の保管場所に書いて引き取りください。

小学5年生 社会科

新燃岳・大淀川を題材にした防災学習

学習教材



国土交通省 九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

防災学習の実施



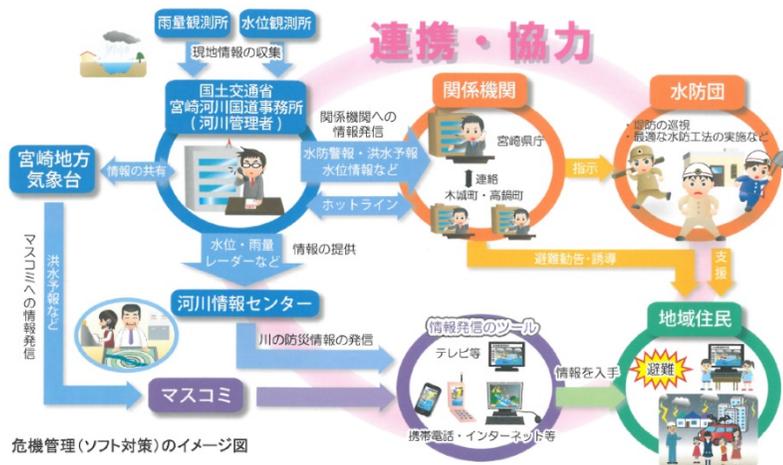
水防災意識の啓発用チラシ



防災学習会の実施

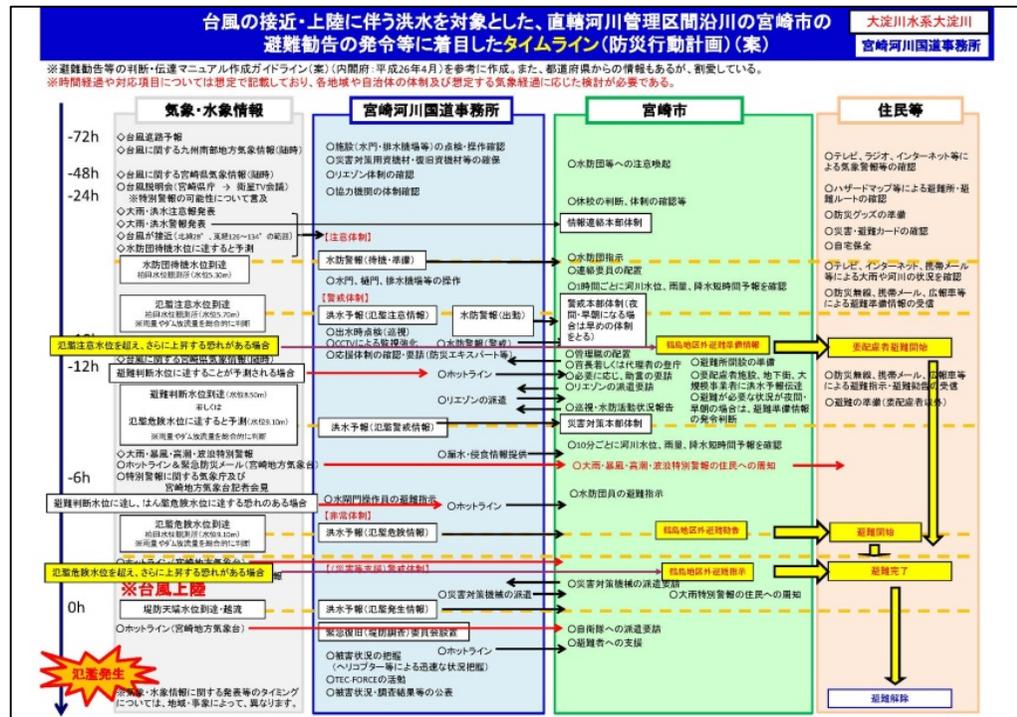
教育委員会と協力して作成した防災学習教材

「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画であるタイムライン(防災行動計画)(案)の活用を強化するなど、国・県・市が連携・協力した適時、かつ、確実な防災対応を実施し、水防情報の共有の充実を図る。



危機管理(ソフト対策)のイメージ図

平成28年6月に大淀川で発足した水災害意識社会再構築協議会を継続的に開催し、国・県・市が連携・協力して減災に向けた対策を推進。



【構成委員】
 宮崎市長、国富町長、綾町長、都城市長、小林市長、三股町長、高原町長、宮崎県総務部危機管理局长兼危機管理課長、宮崎県土木整備部河川課長、砂防課長、宮崎土木事務所長、都城市土木事務所長、小林土木事務所長、高岡土木事務所長、宮崎地方気象台長、宮崎河川国道事務所長
 【アドバイザー】
 宮崎大学名誉教授 杉尾 哲



(H29.6)

地域の方々の適切な防災行動などに役立てて頂くため、地デジテレビやパソコン、携帯電話（スマートフォン）などにより、さまざまな水防災情報を提供している。引き続き、自ら危険性を把握することが出来る情報の発信に向け充実を図っていく。

九州防災ポータルサイト **パソコン**

九州防災ポータルサイト 1473039

川の防災情報 (雨量・水位など)

気象情報

雨量レーダー (XRAIN)

台風情報

ライブカメラ

土砂災害危険度情報

地デジによる河川防災情報 **テレビ**

地デジによる河川防災情報

河川水位・雨量

約川 1.16m はんらん注意水位

約川	大濠川	多々良川	御苧川	緑井川	那珂川	室見川	雷山川
1.16m	0.73m	0.3m	1.31m	0.04m	0.77m	欠測	1.16m
0.51m							

河川情報アラームメール **携帯電話**

あ、メール!

〇〇〇〇時〇分
〇〇川の〇〇〇〇
測所 (XX町付
近)が、水位危
険レベル2を
突破しました。

【ご登録は以下の方法で】
空メールの送信
kasenalarm-entry
@qsr.mlit.go.jp

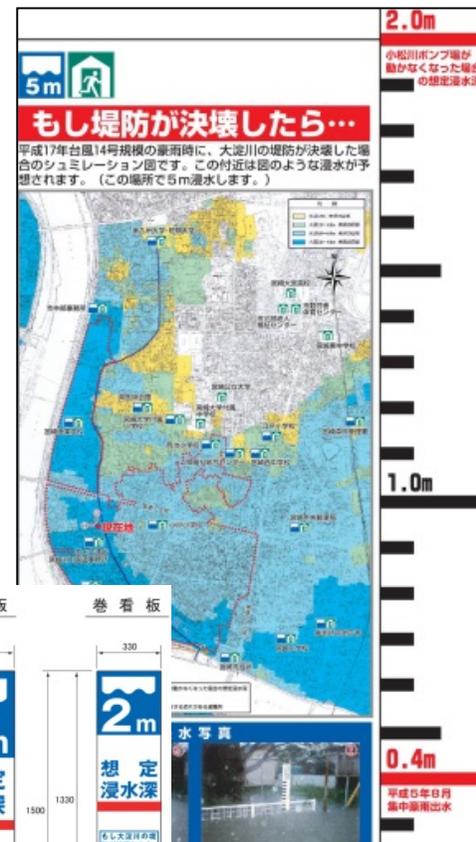
プッシュ型配信 **携帯電話**

川が氾濫する可能性が高まった時に自動に配信

洪水情報のプッシュ型配信イメージ

河川管理者(国)・気象庁 → 洪水情報 → 携帯電話事業者 (NTT、KDDI、沖縄移動、ソフトバンク) → 緊急速報メール → 住民の皆様

- 河川氾濫のおそれがある場合
 - 緊急速報 配信パターン1
- 河川氾濫発生した場合
 - 緊急速報 配信パターン2
 - 緊急速報 配信パターン3



⑧地域防災コラボチャンネルの普及促進

ケーブルテレビ事業者が有する地域密着性というメディア特性を活かして、コミュニティFM等のラジオ放送からの音声放送や国土交通省の河川監視カメラ映像とのコラボレーション放送により、より身近な地域の防災情報を住民に届け、的確な避難行動につなげる。

コミュニティFM(●●地域防災放送)

音声放送

音声放送

ケーブルテレビ局
はLアラート等
を用い情報配信

●●地区に避難準備情報が発令
左下の二次元コードで●●地区のハザードマップをチェック

地域水害・
土砂災害情報



二次元
コード



国交省からの
河川監視カメラ
映像配信

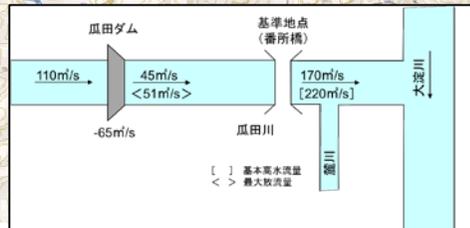
大淀川支川 河川整備状況(瓜田川・江川)

-  河川カメラ(設置済)
-  河川水位(設置済)
-  簡易カメラ(予定)
-  危機管理型河川水位(予定)



<江川>
 危機管理型水位計N=1基
 H31.3~H31.6
 簡易型河川監視カメラN=1基
 H31年度内整備
 ※水位計・カメラの設置場所選定中

<龍川>
 危機管理型水位計N=1基
 H31年度内整備
 簡易型河川監視カメラN=1基
 H31年度内整備
 ※水位計・カメラの設置場所選定中



大淀川支川 河川整備状況(飯田川・瓜生野川)

(飯田川)



-  河川カメラ(設置済)
-  河川水位(設置済)
-  簡易カメラ(予定)
-  危機管理型河川水位(予定)

(瓜生野川)



- 危機管理型水位計N=1基
H31.4~H31.6
- 簡易型河川監視カメラN=1基
H31年度内整備
- ※水位計・カメラの設置場所選定中

地域の方々の適切な防災行動などに役立てて頂くため、宮崎県のホームページで、観測した雨量や河川の水位、監視カメラの画像、ダムの諸量を公開しています。今後は、インターネット上で危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラの画像情報を提供予定です。

宮崎県の雨量・河川水位観測情報

雨量・水位等の情報は携帯サイトでご覧いただけます。

雨量観測情報：画面イメージをクリックすると目的の画面を表示します。

- 雨量状況図：地図上に観測局の位置を示すマークを表示し、雨量の強さに応じて色替え表示します。
- 雨量観測表：最新の雨量データを一覧表示します。
- 雨量一覧表：一定期間の雨量データを一覧表示します。

水位観測情報：画面イメージをクリックすると目的の画面を表示します。

- 水位状況図：地図上に観測局の位置を示すマークを表示し、水位の危険度に応じて色替え表示します。
- 水位観測表：最新の水位データを一覧表示します。

監視カメラ：静止画像、ダム諸量

ダム情報：ダム諸量

検索

雨量観測情報

宮崎県内にある雨量観測所の観測値を閲覧できます。

水位観測情報

宮崎県内にある水位観測所の観測値を閲覧できます。

- 瓜田川 番所橋・梅木田橋
- 飯田排水機場 内水位・外水位

監視カメラ

宮崎県内にある監視カメラの画像を閲覧できます。

- 瓜田川 番所橋
- 飯田排水機場

ダム情報

宮崎県内にあるダムの諸量を閲覧できます。

- 瓜田ダム 水位、流入量、放流量

今後提供する予定の情報

インターネット上で

- 危機管理型水位計
- 簡易型河川監視カメラ

の情報を提供予定です。

「川の水位情報」(危機管理型水位計を運用するためのシステム)の本運用を開始

平成30年6月1日から、河川管理者や住民等がスマートフォン、タブレット、PC等を用いて、危機管理型水位計の水位データを簡単に閲覧することができるシステムの運用を開始しました。

▶ アクセスはこちらから <https://k.river.go.jp/> (パソコン・スマートフォン共通)

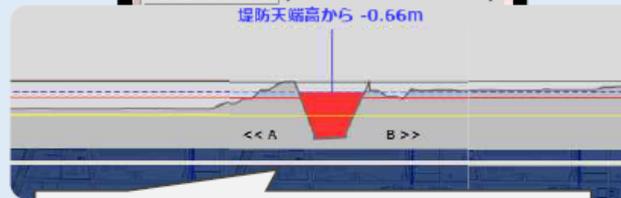


3つの主な機能

観測所の一覧画面から観測地点を選択すると自動でズームし、その観測地点の河川水位を簡単にみられます。

河川周辺の土地の高さとリアルタイムの河川水位が重ねて表示され、氾濫した場合の危険度がわかります。

リアルタイムの河川水位に対応して表示の色が変化し、氾濫の危険度がわかります。



スライドさせて周辺の土地の高さを見れます。

